



厚木秦野道路は暫定整備で早期開通をめざします

記者発表資料

国道246号県央地域の渋滞解消を図ります

厚木秦野道路は、平成8年に全線約29kmを都市計画決定し、区間毎に順次事業化を進めています。

厚木市をはじめとする県央地域の国道246号沿線は渋滞が激しく、平成18年3月に公表された「渋滞見える化プラン」においても、要対策箇所として位置づけられています。

地元からも、その対策として厚木秦野道路の「早期建設に向けての暫定整備」について要望を受けているところです。

このような状況の中、国土交通省では厚木秦野道路の整備効果を早期に発揮するために暫定整備に関する検討を進めてまいりましたが、このたびその方針(案)がまとまりましたのでお知らせします。

この方針(案)に基づき、関係自治体等との詳細な協議及び用地買収を更に進めるとともに、事業化区間全線において今後概ね10年の間の開通をめざすべく努力してまいります。

暫定整備方針(案)

- ・ 早期開通を図るため、当面暫定2車線による整備を行います
- ・ 地元の利便性向上のため、厚木秦野道路と主要道路との暫定的な接続箇所を想定し、関係自治体等との詳細な協議を行います  
 想定接続箇所(厚木市事業化区間の事例)  
 国道129号、(都)厚木バイパス、国道412号の3カ所

平成18年12月5日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 tel 045-311-2981(代表)  
 副所長 箕作光一(内線:205)  
 計画課長 土肥学(内線:451)

## 厚木秦野道路とは

・厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして現道の交通混雑緩和を図るとともに、東名高速、第二東名、さがみ縦貫道路と相互に連絡し、圏央地域の広域的なネットワークを形成する、全長約29kmの道路です。

## 事業経緯

平成8年6月 都市計画決定

平成10年度 伊勢原区間 事業化(伊勢原北IC～伊勢原西IC間 4.1km)

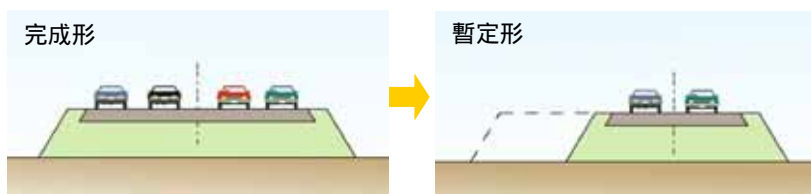
平成13年度 厚木市区間 事業化(圏央厚木IC・JCT～厚木北IC間 3.6km)

平成14年度 伊勢原市区間 事業区間延伸(伊勢原市西富岡～伊勢原北IC間 0.7km)

現在、事業化区間の用地買収促進中



## 暫定2車線整備イメージ



用地買収は完成形で行います

## 想定接続箇所

(厚木市事業化区間の事例)

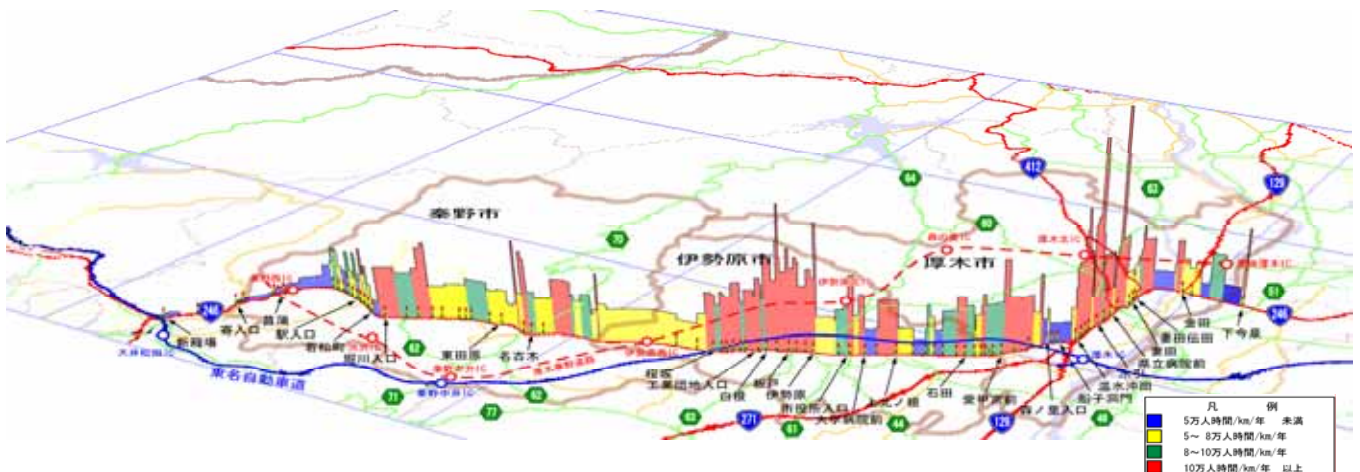
- 国道129号
- (都)厚木バイパス
- 国道412号



## 国道246号県央地域の渋滞状況

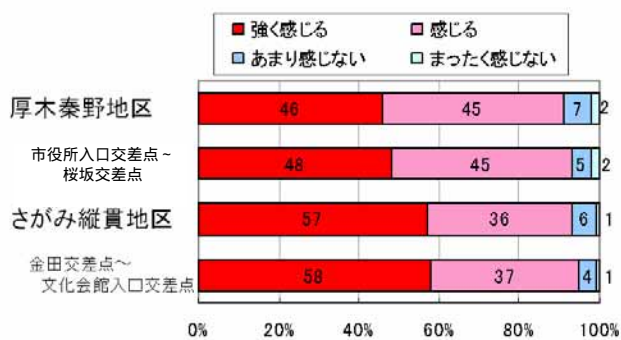
- ・国道246号の渋滞損失時間は約465万時間/年で、渋滞損失額は約72億円/年にのぼります。
- ・道路利用者アンケート結果からも、当該地域は移動性阻害に対する対策が必要との結果が出ています。

### ・国道246号の渋滞損失



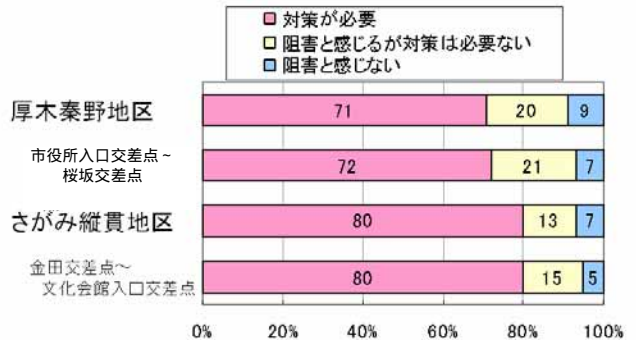
### ・道路利用者アンケート結果

#### ◆移動性が阻害されていると感じるか？



9割以上が「移動性が阻害されている」と感じている

#### ◆対策が必要と感じるか？



7割以上が「対策が必要」と感じている